

令和5年度文部科学省「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」  
研修パッケージ② 特異な才能のある児童生徒の特性を踏まえた授業作りについて  
振り返りシート

Step. 1

- (1) 特異な才能のある児童生徒の特性を活かしたカリキュラムや授業の工夫を考える際に、「早修」と「拡充」の二つの方策があります。以下のどちらが早修、拡充かを考え、記入してください。

\_\_\_\_\_：既存の教育プログラムを通常よりも速く、あるいは早期に履修する

\_\_\_\_\_：通常カリキュラムよりも体系的で深化した幅広い内容を学習する

※早修と拡充は別々に行うこともできれば、合わせて行うことも可能です。クラスや学校、児童生徒の実情に応じてその程度をアレンジすることもできます。

- (2) カリキュラムや授業を多様化、高度化するには学級の環境作りも大切です。研修動画の内容を参考にして、学級の環境作りに向けて効果的だと思う点をいくつか挙げてみましょう。

Step. 2

授業で使っている教科書か教師用指導書を一つお持ちください（どの教科、学年でもかまいません。学習指導案でもかまいません）。そして、単元全体を通して、あるいは一つの授業について、その授業計画の中で早修と拡充から工夫できる点を考えてみましょう。そして可能であれば、同じ教科に関わる他学年担当の先生、同じ学年の他教科担当の先生と共有し、それらの点をさらに具体化すると共に、学年や教科を横断した教育支援の連携可能性について話し合ってみましょう。